

指定管理者からの令和3年度事業報告概要

施設名	岡山県総合グラウンド（岡山武道館を除く。）
------------	-----------------------

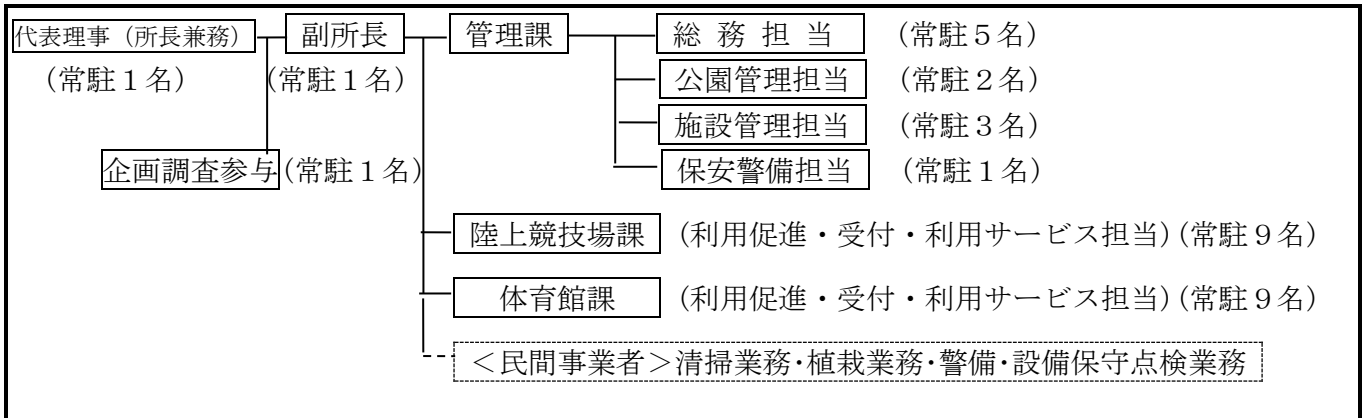
【指定管理者の概要】

名称	一般社団法人岡山県総合協力事業団	代表者	代表理事 房野 文彦
所在地	岡山市北区いずみ町2番1-11号		

【指定管理の概要】

指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日	報告期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日
管理業務の内	<ul style="list-style-type: none"> ・総合グラウンドの施設の利用等の許可に関すること。 ・総合グラウンドの施設及び設備の維持管理に関すること。 ・総合グラウンドの運営に関すること。 		

【管理体制の状況】



【利用等の許可の状況】

（単位：件）

		陸上競技場（補助含）	庭球場	その他	合計
許可件数	3年度	59,417	16,240	10,418	86,075
	2年度	55,374	20,650	11,804	87,828
	増減	4,043	△4,410	△1,386	△1,753

【維持管理の業務の実施の状況】

項目	内容
施設等の維持管理業務	・建物、設備保守管理 ・施設清掃業務 ・警備業務 ・植栽管理業務等
公園使用許可業務	許可件数 86,075件 [内訳] 個人：83,942件 専用：2,133件
自主企画事業	体験教室等の開催、トレーニング器具・球技用簡易用具の貸出等

【利用料金の収入及び減免の状況等】

（単位：円、人）

	陸上競技場（補助含）	体育館	その他	合計
収入額	30,736,538	42,645,622	38,778,401	112,160,561
利用者数	96,167	108,151	98,742	303,060
減免額	177,976,407	24,972,680	506,900	203,455,987
減免理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ファジアーノ岡山、岡山シーガルズ等の支援のため。 ・身体障害者、高等学校以下の学校が組織する団体が主催し、スポーツ振興のために使用する場合など。 			

指定管理者からの令和3年度事業報告概要

【管理に係る収支の状況】

(単位：円)

		3年度	対前年度増減額	2年度	備考
収入額 A		540,429,832	37,669,952	502,759,880	3年度収入額 A 欄中「その他」の主なもの ・ 県委託修繕費 73,971,000円 ・ 岡山県大規模集客施設協力金 15,752,000円
内 訳	指定管理料	285,772,000	5,746,000	280,026,000	
	利用料金収入	161,813,911	5,796,579	156,017,332	
	事業収入	2,781,406	△ 237,834	3,019,240	
	その他	90,062,515	26,365,207	63,697,308	
支出額 B		521,527,729	36,298,511	485,229,218	3年度支出額 B 欄中「その他」の主なもの ・ 電話設備更新 4,730,000円 ・ 体育館室外機操作盤修繕 4,620,000円
内 訳	人件費	138,468,649	1,603,990	136,864,659	3年度「県への納入金」の内訳 ・ 駐車場の剰余金 ①利用料金収入等 49,653,350円 ②管理運営費等 30,417,409円 納入金①-② 19,235,941円
	管理運営費	307,528,278	20,168,235	287,360,043	
	事業費	1,559,802	47,286	1,512,516	
	その他	73,971,000	14,479,000	59,492,000	
収支額 A-B		18,902,103	1,371,441	17,530,662	
県への納入金		19,235,941	1,220,728	18,015,213	
実質的な県負担額		340,507,059	19,004,272	321,502,787	

【特記事項（管理運営業務の実施状況の点検結果）】

点検項目	区分	特記事項（評価すべき点・改善すべき点）
管理運営状況	①適切な施設管理の履行	B 事業計画、業務仕様書に沿った適切な管理が履行されていた。また、資格取得講習や研修会への参加による職員の資質向上にも努めていた。
	②法令等の遵守状況	B 関係法令に基づく義務は適切に履行されていた。
	③安全性の確保	B 「園内巡視マニュアル」や「公園施設点検チェックシート」等により園内の利用秩序の維持と安全確保に努めるほか、昨年度からは新型コロナウイルス感染症の対応のため、「感染防止マニュアル」に沿って、適切な感染防止対策を実施していた。
	④財産の適切な管理	B 施設・設備の破損、備品の紛失はなく、修繕も適時的確に実施されており、適切な管理が履行されていた。
導入効果	①利用状況	C 新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、休止期間（79日間：5/15～6/20、8/20～9/30）があった。また、有料公園施設の利用者数は前年度比98.0%であった。 【利用者数】 R3：303,060人 R2：309,176人 R元：554,486人
	②収支状況	B オープンカウンターによる物品購入のほか、施設内水洗トイレに雑用水を利用するなど経費節減に努めており、適切な支出内容であった。
	③サービス向上	B ホームページを全面的に見直して、誰もが見やすく分かりやすいものに刷新するなどサービス向上に努めていた。
管理運営業務全般	B 昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により施設の閉鎖や大会・イベントの中止などがあったが、感染対策はもちろん管理運営において適切な対応を行っていた。また感染拡大以前に比べ、利用者数が減少し、利用料金収入が大幅に減少する中、経費削減等に取り組んでいた。	

※「区分」欄は、点検結果の区分。区分の内容は次のとおり

A：予定していた業務水準を上回った。 B：予定していた業務水準を概ね実施した。
C：予定していた業務水準の一部が実施できなかった。 D：予定していた業務水準を下回った。